

平成24 年度（ 23 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 620506 県消防操法大会出場事業					主管課名	防災安全課				
	この事務事業 の位置	政策	安全で安心して住み続けることができる地域					課長名	近藤 友久			
		施策	地域力を高めて安全で安心して暮らせるまち									
		基本事業	消防の充実									
(1)事業の概要												
愛知県が主催となり毎年開催される消防操法大会であり、平成21年度までは西加茂郡の出場枠で3年に一度、前年度の三好町消防操法大会で優勝した消防団が出場していたが、市制施行に伴い、平成22年度からは毎年の出場となっている。						(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						県操法大会出場分団		分団				
						その指標						
(23年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)		三好下分団がみよし市代表として県操法大会に出場するにあたり、操法訓練を実施するための援助を行う。										
24年度計画	前年と同様 変更あり	変更内容										
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)						
男性消防団						名 称		単 位				
						男性消防団分団数		分団				
						その指標						
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)						(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)						
出場または見学・応援することで、初期消火技術を向上してもらう。						名 称		単 位				
						操法訓練回数		回				
						その指標						
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)						(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)						
生命と財産を守る。						名 称		単 位				
						消防団実数		人				
						その指標						
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
(5)の活動指標		分団	1	1	1	1	1	1				
(6)の対象指標		分団	13	13	13	13	13	13				
(7)の成果指標		回	224	54	50	50	50	50				
(8)の結果の成果指標		人	331	363	360	360	360	360				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	09	項	01	目	01
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	3,651	2,137	1,725	1,725	1,725	1,725				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	1,605	0	0	0	0				
		一般財源	千円	2,046	2,137	1,725	1,725	1,725	1,725			
人件費B		千円	3,051	1,228	1,603	1,603	1,603	1,603				
正職員従事時間×人数		時間×人	200×4	100×3	100×4	100×4	100×4	100×4				
正職員以外の人件費		千円	100	100	100	100	100	100				
その他費用C		千円	478	538	400	400	400	400				
トータルコストA+B+C		千円	7,180	3,903	3,728	3,728	3,728	3,728				
単位あたりコスト(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/分団	552	300	287	287	287	287				
		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 620506 県消防操法大会出場事業	
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	不明 から	就労形態の多様化などにより消防団員の加入が思うように進まず、新入団員の不足や団員の高齢化が進み、消防団の存続は深刻化している。また、県大会への出場は、市制施行に伴い平成22年度以降は毎年参加することとなり、操法要員の練習にかかる負担や団員の家族の負担はもとより、職場等の理解を得ることも大きな課題である。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？	
県消防操法大会に本町消防団が出席する際、訓練に励んでもらい、好成績を残してもらえよう、町を挙げて激励した。		
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？	変化していない	変化している

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	根拠法令	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する
		自治事務	根拠法令	特になし
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく	理由	本市消防団代表として、大会に出場させることは技術の向上につながり、また市をあげて応援することで、消防団の結束につながる。
		結びつかない		
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる	拡大	内容
		できない	縮小	
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる	追加	内容
		できない	絞込み	
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい	理由又は内容	
		多少影響がある		
(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	理由又は内容	県操法大会において順位をあげるにより一層の士気が高まる。	
1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できない			
(7)類似又は関連する事業はありませんか？また、類似事業との再編で費用対効果が向上しますか？	ある	庁内事業	類似事業名	
	ない	庁外事業	類似事業との再編の可能性	
(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある	内容	毎年出場となったために備品などは継続して使用できるようになったため。	
	ない			
(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある	内容	操法の練習の職員の立会いを減らす。	
	ない			
(10)受益者負担はありますか？また、受益者負担割合は適正ですか？	ある	現状で適正	内容	
	ない	検討が必要		
		受益者がいない		

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	維持	成果の方向性	維持
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	毎年開催される県大会に出場し、好成績を収めることは大きな意義があるが、団員や家族の負担も大きく、職場の理解も相当必要である。出場分団の負担や要員の選出が困難な現状から、今後は、全分団からの選抜なども検討する必要がある。					